



令和 6 年10月7日

報道関係各位

国史跡 飯盛城跡講演会 クローズアップ飯盛城 2024
『飯盛城を支えたお城を考える—飯盛城と関連城郭—』
令和 6 年 10 月 12 日(土)「大東市立市民会館2階 キラリエホール」にて開催



飯盛城跡遠景【北西から】



田原城跡【南西から】



龍間城跡主郭【南西から】

四條畷市と大東市に所在する飯盛城跡は、令和 3 年 10 月 11 日に「戦国時代の政治・軍事を知るうえで貴重」と評価され、両市で初めて国史跡に指定されました。令和 5 年度には飯盛城跡の保存・活用の基本方針となる「保存活用計画」を策定し、令和 6 年度は史跡整備の具体的な手法を定めた「整備基本計画」の策定に着手しています。

この度、飯盛城跡の保存・活用事業の一環として歴史的価値を周知するため講演会を開催する運びとなりました。今回は戦国時代に政治・文化の中心地であり、重要な役割を果たした飯盛城を守るために周囲に築かれたお城＝支城に注目し、野崎城跡(大東市)、田原城跡(四條畷市)北田原城跡(生駒市)など支城の調査成果のほか、歴代城主と本城・支城の関係を紹介します。

<講演会概要>

名 称 : クローズアップ飯盛城 2024 講演会『飯盛城を支えたお城を考える—飯盛城と関連城郭—』
主 催 : 大東市、四條畷市教育委員会、大東市立歴史民俗資料館、四條畷市立歴史民俗資料館
日 時 : 令和 6 年 10 月 12 日(土) 午後 1 時～4 時 30 分(開場は正午から)
会 場 : 大東市立市民会館2階 キラリエホール(JR学研都市線「住道」下車北へ徒歩 10 分)

〒574-0076 大東市曙町 4 番 6 号

★駐車場: 台数に限りがあるため公共交通機関でお越しください。

定 員 : 500 人(申込不要、先着順)

参 加 費 : 無料

内 容 : ①両市担当者による調査報告

②公益財団法人元興寺文化財研究所 江浦洋氏による北田原城跡(生駒市)調査成果講演

③天理大学 天野忠幸教授による飯盛城の支城群の講演

当日問合 : 大東市産業・文化部生涯学習課(電話:072-870-9105)

ホームページURL:(大東市) <https://www.city.daito.lg.jp/soshiki/46/56471.html>(四條畷市) <https://www.city.shijonawate.lg.jp/site/bunkazai-shiseki/52639.html>

【問い合わせ先】 大東市 産業・文化部 生涯学習課 担当: 李、馬場

TEL:072-870-9105

FAX:072-870-9687

<参考>

国史跡・飯盛城跡

大東市と四條畷市にまたがる飯盛山に位置する戦国時代の山城跡です。城の規模は東西約400メートル、南北約700メートルで、西日本で有数の規模を誇ります。

享禄3年(1530)に木沢長政の居城として初めて登場し、永禄3年(1560)に三好長慶の居城となりました。

石垣や曲輪、堀切などの遺構が良好に残っており、令和3年10月に大東市で初めて国史跡に指定されました。

三好長慶(1522～1564)

阿波国(徳島県)出身の武将で、細川氏に仕えた後、次第に頭角をあらわし、天文22年(1553)に將軍足利義輝を京都から追放し、事実上の天下人となりました。連歌や和歌を好む文化人でもあり、キリスト教の布教にも寛容でした。永禄7年(1564)に飯盛城で亡くなりました。



飯盛城跡の石垣



三好長慶像(大徳寺・聚光院蔵)

飯盛城跡の歴史的価値

測量調査と分布調査で明らかになった飯盛城跡の城域は(東西400m、南北700m)西日本有数の規模を誇ります。城域のうち、北エリアは防御空間、南エリアは居住空間として機能していたことが調査成果からも想定されます。多くの曲輪の周囲には石垣が築かれており、石垣は城の全域に分布していることも明らかになりました。

石垣については飯盛城跡を特徴づける遺構であり、戦国時代末期の石垣構築技術や年代を特定できる貴重な事例であるといえます。発掘調査では、礎石が出土し瓦が発見されたことから石垣・礎石建物・瓦を導入した城郭であることが分かりました。調査成果から飯盛城跡の歴史的価値は以下の4点にまとめられます。

- ・戦国時代末期の重要な政治拠点・文化交流の場として機能したこと・戦国時代末期の重要な政治拠点・文化交流の場として機能したこと
- ・戦国時代末期の城郭遺構が良好に残存し、城の機能が推定できること・戦国時代末期の城郭遺構が良好に残存し、城の機能が推定できること
- ・戦国時代末期の山城における石垣の使用と構築技術を示す貴重な事例であること・戦国時代末期の山城における石垣の使用と構築技術を示す貴重な事例であること
- ・石垣・礎石建物・瓦を導入した城郭であること・石垣・礎石建物・瓦を導入した城郭であること

飯盛城跡は織田信長によって完成される「織豊系城郭」に先行して石垣・礎石建物・瓦の3つの要素を取り入れた稀有な事例であり、城郭史上の画期に位置づけられる戦国時代末期の時代の変化を考察する上で、重要な遺跡といえます



クローズアップ飯盛城 2024 講演会

飯盛城を支えた お城を考える

飯盛城と
関連城郭

三好長慶が居城とした飯盛城は戦国時代、政治の中心地でした。重要な役割を果たした飯盛城を守るため、周囲には多くのお城が築かれました。今回の講演会では飯盛城を支えたお城(支城)をテーマに講演会を開催します。

無料

定員 500人
(申し込み不要・先着順)

令和6年10月12日(土)
午後1時～午後4時30分(正午開場)

会場：大東市立市民会館2階 キラリエホール

お問合せ
大東市 産業・文化部生涯学習課
TEL 072-870-9105

『大東市域の支城 —野崎城跡・龍間城跡・三箇城跡—』

『四條畷市域の支城 —田原城跡・千光寺跡—』

李 聖子(大東市)・村上 始(四條畷市教育委員会)

『北田原城跡の発掘調査成果』

江浦 洋氏

(公益財団法人元興寺文化財研究所)

『飯盛城の支城群』

天野忠幸氏(天理大学教授)

当日スケジュール（講師・講演内容）

- 13:00～13:05 開会挨拶
- 13:05～13:55 『大東市域の支城―野崎城跡・龍間城跡・三箇城跡―』
李 聖子（大東市）
『四條畷市域の支城―田原城跡・千光寺跡―』
村上 始（四條畷市教育委員会）
- 13:55～15:05 『北田原城跡の発掘調査成果』
江浦 洋氏（公財団法人元興寺文化財研究所）
- 15:05～15:15 休憩
- 15:15～16:25 『飯盛城の支城群』
天野忠幸氏（天理大学教授）
- 16:25～16:30 閉会挨拶



国史跡 飯盛城跡

飯盛城跡は大阪府大東市・四條畷市にまたがる飯盛山の山頂を中心に築かれた戦国時代末期の山城跡です。城の範囲は東西 400m、南北 700mを測り西日本有数の規模を誇り、本格的な石垣が取り入れられていることが特長です。永禄3年（1560）には阿波（現在の徳島県）出身の最初の天下人『三好長慶』が居城としました。

大東市立市民会館 2階 キラリエホール

〒574-0076 大東市曙町4番6号



● JR「住道駅」下車 徒歩約 10 分

北口を出て歩道橋を下りそのまま北へ、住道駅北交差点を右折、東へ約 400m。

もしくは、駅北側ロータリー、近鉄バス停より「30 系統東花園駅前行き」、「16 系統 生駒登山口行き」乗車。「大東市役所前」下車すぐ。

※ 駐車場は、台数に限りがあるため
公共交通機関でお越しください。